



湖岸に打ち上げられた水草を熱心に回収する生徒ら

## 水質日本一の復活を願って

東中と猪苗代L Cが猪苗代湖の水草回収

東中と猪苗代ライオンズクラブは10月11日、猪苗代湖の天神浜で漂着水草の回収作業を実施しました。同校の全校生徒と同クラブ会員合わせて約110人が参加。熊手などを使って湖岸に打ち上げられた水草を回収し、湖の環境保全に努めました。同校2年の柴田菜摘さんは「大変だけど、地域の人と交流できるし、友達と協力しながら作業できて楽しい。このような活動を続けていって、水質日本一に戻りたい」と話しました。

## ソチ冬季五輪への思いを語る

モーグルの遠藤、星野両選手がトークショー

「モーグルトップアスリートふれあいトークショー」は9月14日、ホテルリステル猪苗代で開かれました。バンクーバー冬季五輪男子モーグルで7位入賞の遠藤尚選手（忍建設、猪苗代高卒）、チームリステル所属の星野純子選手が、来年2月に開かれるソチ冬季五輪への思いなどを語りました。遠藤選手は「五輪から帰ってくる時には首に金メダルがかかっているようにしたい」、星野選手は「頑張っソチの舞台に立ちたい」などと話しました。



ソチ五輪への思いなどを語った遠藤選手（右）と星野選手



秋田さん（中央）とミニゲームを楽しむ児童ら

## 元日本代表とサッカーを楽しむ

吾妻小でキリンスマイルフィールド

東日本大震災復興支援のサッカー教室「JFA・キリンスマイルフィールド」は10月4日、吾妻小で開かれ、全校児童約70人がサッカーに親しみました。元日本代表の秋田豊さんらが訪れ、ミニゲームなどを通して児童らにサッカーの楽しさを伝えました。スポ少のサッカー部に所属している高橋瑠依さん（6年）は「プロ選手と一緒にプレーできて、とても楽しかった。秋田選手はすごく強くて、全然ボールを奪えなかった」と笑顔で話しました。

## 小中学生が心に響く演奏を披露

学びいなで野口博士顕彰記念音楽祭

第30回野口英世博士顕彰記念町内小中学校音楽祭は10月4日、学びいなで開かれ、児童・生徒たちが心に響くハーモニーを奏でました。町内の6小学校の児童と3中学校の生徒がこの日のために練習してきた合奏や合唱などを披露。練習の成果を発揮し、会場を訪れた保護者らを魅了しました。音楽鑑賞のコーナーでは、「アルプス音楽団」による演奏が披露され、参加した児童・生徒たちが熱心に聞き入りました。



息の合った演奏を披露する児童たち

## 町の代表が健闘を誓う

ふくしま駅伝町選手団が結団式



写真上 結団式に臨んだ選手たち。皆さんは、学業や仕事をしながら、少しでもタイムを縮めようと夜間や休日などに練習に励んでいます。大会当日は、町の名譽を懸けて走る選手たちに熱い声援をよろしくお願いします

写真下 「サポートしてくれる皆さんのため、最後まで全力で走り抜きます」と力強く宣誓した五十嵐主将



第24回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会（ふくしま駅伝）は11月17日、白河市の総合運動公園陸上競技場をスタート、福島市の県庁前をゴールとする16区間、全長96.5\*で開催されます。

大会に出場する町選手団の結団式は10月19日、学びいなで行われ、選手、監督、コーチや来賓など約30人が出席しました。

式では、前後公町長が「コンディションを整え、万全の体制で大会に臨み、好成績を残してください」とあいさつ。鈴木武喜町議会議長が「町民一丸となって応援するので頑張ってください」と祝辞を述べました。

五十嵐幸夫監督は「昨年まで町の部において上位をキープしている。大会までの残り1カ月、練習を重ねて一人一人がタイムを縮め、町の名譽を懸けて最高の順位を目指す」とあいさつ。引き続き選手団の五十嵐史朗主将が「サポートしてくれる町民の皆さんのために、全力で走り抜きます」と宣誓しました。

## 富岡高・猪苗代中バド部を激励

J Aあいづ肉牛部会が会津牛を贈呈

J Aあいづ肉牛部会は9月25日、富岡高と猪苗代中バドミントン部が合宿生活をしている、あるばいんロッジに牛肉10キロを寄贈しました。原発事故の影響により本町に拠点を移して活動を続け、全国大会や国際大会で活躍する部員を激励しようと贈られたものです。贈呈には鈴木寿典部会長と肥育牛農家の遠藤好夫さんが訪れました。贈呈された最高級A5ランクの牛肉は、素材を生かすため、シンプルに焼いて生徒らに提供されたそうです。



牛肉を贈呈する鈴木部会長（左から2人目）と遠藤さん（左）

## バレーボールで福島を元気に

カメリーナでバレーボールエイドが開かれる

東日本復興を応援する「バレーボールエイド2013 in 猪苗代」は10月20、21の両日、カメリーナで開かれ、V・プレミアリーグ女子のパイオニアレッドウィングスとNECレッドロケッツの選手らがエキシビションマッチや小中学生対象のバレーボール教室などを行いました。カメリーナスポーツクラブに所属する小学生や町内3中学校のバレーボール部員らも参加し、国内トップ選手からレシーブ、トス、サーブなどの熱心な指導を受けました。



国内トップ選手から指導を受ける小学生





熱戦が繰り広げられた大会の様子

## 地域で楽しむスポーツの秋

町民球技大会で猪苗代一が決定

町民球技大会中央大会のバレーボールは9月8日、カメリーナで開催されました。雨天のため延期となったソフトボールは9月15日に実施されましたが、この日も途中から悪天候に見舞われ、決勝戦が延期となりました。決勝戦は10月27日に行われ、ようやく猪苗代一が決定しました。結果は次のとおりです。  
【ソフトボール】優勝：小田チーム、準優勝：四ツ谷チーム  
【バレーボール】優勝：扇田チーム、準優勝：樋ノ口チーム

## 湖の水質改善願い汗を流す

猪苗代湖北岸でヨシ刈りとごみ撤去作業

県民ボランティアによるヨシ刈りおよびごみ撤去作業は10月23日、猪苗代湖北岸で行われました。町、県、環境省などの主催で、県内の42団体から約250人が参加。湖北岸のヨシ群落は、湖内に流れ込んだ汚濁物質を吸収し、水質浄化に役立つ一方で、大量の漂着ごみが堆積するなど、水質悪化の一因となることから、毎年実施しているものです。参加者は背丈の2倍ほどもあるヨシを刈り取り、周辺のごみを熱心に拾い集めました。



背丈の2倍ほどもあるヨシを刈り取り、運搬する参加者

## 教育行政発展の功績に感謝

前教育委員の穴澤周一さんに感謝状

町教育委員を1期4年間務め、このたび退任された穴澤周一さんに10月1日、町の感謝状が贈られました。  
贈呈式は同日、町役場で行われ、前後町長が穴澤さんに手渡しました。前後町長は「長年にわたり教育行政の振興にご尽力いただきありがとうございます。これからも町政伸展のためにご協力をお願いします」と感謝の言葉を述べました。



前後町長から感謝状を受ける穴澤さん(右)

## 火山の仕組みに興味津々

学びいなで日本火山学会の秋季大会

日本火山学会の秋季大会は9月28日から10月1日までの4日間、学びいなで開催されました。初日は子ども向け公開講座があり、小中学生約20人が磐梯山などの火山の仕組みを学びました。講座では磐梯山の模型を作り、1888年の噴火で起こった岩なだれを再現したり、溶かしたべっこうあめを模型の山頂から流し、溶岩が山肌を下る様子を観察したりしました。この日はジオパークシンポジウムと火山防災シンポジウムも行われました。



溶かしたあめが流れる様子を観察する子どもたち



前後町長と握手を交わし、活躍を誓う渡部さん(右)

## 渡部剛弘さんW杯本格参戦

町長に報告 活躍誓う

ノルディックスキー複合のW杯に今季から初めて本格参戦する渡部剛弘さん(明治大学、猪苗代高卒)は11月1日、町役場を訪れ、前後公町長に出場を報告しました。渡部さんは30日にフィンランドで開かれる第1戦から12月22日にドイツで開かれる第8戦までの第1ピリオドに参戦を予定しています。渡部さんは「町の支えのおかげで今の自分がある。町のためにも頑張ります」と話してくれました。渡部孝美県スキー連盟会長が同席しました。

## 雨にも負けずはつらつプレー

亀ヶ城公園でグラウンド・ゴルフの県大会

第12回福島民友新聞社杯県グラウンド・ゴルフ大会は10月12日、亀ヶ城公園で開かれ、選手たちが熱戦を繰り広げました。県内8支部から512人が出場、猪苗代町宝の山グラウンド・ゴルフ協会からは約40人が参加しました。開会式で同協会の田上晃さんが選手宣誓し競技を開始。途中、激しい雨が降るなど、悪天候に見舞われましたが、選手たちは「おーうまい」「あー惜しい」などと声を掛け合いながら、はつらつとプレーしていました。



熱戦を繰り広げる選手たち

## 超絶の音色に酔いしれる

野口英世記念ばんだい高原国際音楽祭

クラシックコンサート「野口英世記念ばんだい高原国際音楽祭」は10月12日から14日までの3日間、町内4会場で開催され、町内外から訪れた聴衆が美しい音色に酔いしれました。世界で活躍する演奏家11組が猪苗代に集結し、学びいな、野口英世至誠館、アンジュー猪苗代とホテルリステル猪苗代で延べ20ステージ以上を披露。多彩なステージを繰り広げ、会場に詰め掛けた聴衆を魅了しました。



聴衆の目の前で演奏するアーティストたち

## 町運動公園に案内板を設置

猪苗代ライオンズクラブに感謝状

猪苗代ライオンズクラブはこのほど、町運動公園の案内看板を寄贈しました。10月16日にホテルリステル猪苗代で開かれた同クラブチャーターナイトの席上で贈呈式が行われ、同クラブの牛木勤会長が前後町長に目録を手渡しました。前後町長は牛木会長に感謝状を手渡し、「看板の設置により運動公園の利便性向上が図られ、より多くの皆さんに利用してもらえるものと期待しています」と感謝の言葉を述べました。



前後町長に目録を手渡す牛木会長(左)